

# ■電子ジャーナルを使ってみよう その1

## TUT Link (SFX) で検索する

### 電子ジャーナルとは？



電子ジャーナルは、電子化された雑誌のことです。

雑誌論文をWeb上で読むことができます。Electronic Journal (EJ) Online Journal (OJ)とも呼ばれ、PDF形式やHTML形式で読むことができます。学内LANにつながったパソコンから利用できます。(\*)

\*学外からは「学認」サービスやVPN接続の設定をして利用できるものもあります。学外からの利用のページ [https://www.lib.tut.ac.jp/ejournal/out\\_campus.html](https://www.lib.tut.ac.jp/ejournal/out_campus.html) を参照ください。

VPN接続の設定方法については情報メディア基盤センターのWebサイト <http://www.imc.tut.ac.jp/> より「ネットワークを使う」→「VPN接続サービス」をご覧ください。

現在、ScienceDirect, Wiley Online Library, SpringerLINK, Nature, Science など 5,000タイトル以上の契約している電子ジャーナルを読むことができます。

↓  
大学で2023年に購入している冊子体の外国雑誌は僅か12タイトル

### 電子ジャーナルのメリット

#### 【電子ジャーナル】

- ★研究室にいながら、いつでも本文まで読める！
- ★複数の人が同時に読める
- ★最新号をいち早く読める
- ★引用文献や参考文献にもクリックひとつでアクセス
- ★「図書館に行ったら製本中で使えない」、「発行されてるはずなのにまだ届いていない」ということもない



#### 【図書館の雑誌】

- ・コピーしないとゆっくり読めない
- ・外国雑誌は、外国から到着するので、発行から到着までに時間がかかる
- ・雨の日に図書館まで行くのがちょっと。。。



【重要】便利な電子ジャーナルですが、以下のルールを守って利用してください。

#### ==電子ジャーナル利用上の禁止事項==

- \* 手動または機械的に、短時間のうちにPDFやHTMLの本文ファイルを大量ダウンロードすること
- \* 電子ジャーナルの1号の半分以上にわたるデータを大量ダウンロードをすること
- \* ダウンロードしたデータを第三者に複製・再配布すること
- \* 個人の研究・教育以外の目的での使用
- \* その他著作権を侵害する行為をすること

これらの行為は絶対しないこと。 ひとりでも違反すると大学全体の利用が停止されます！

PDFファイルを開くことがダウンロードです

# 電子ジャーナルアクセス方法 ① TUT Link(SFX)で検索

例) 雑誌 Journal of Chromatography A vol.1505 p. 1-17(2017) の論文をみたい場合

図書館ホームページ「電子ジャーナル」から <http://sfx10.usaco.co.jp/tut/az> TUT Link (SFX) のページを開く TUT Link (SFX)では、雑誌名などから本学で利用できる電子ジャーナルが検索できます。



**TUT Link (SFX) 画面**

1 検索フィールドに 雑誌名 Journal of Chromatography A と入れて「検索」

×論文タイトルでは検索できません 雑誌名と巻号ページやDOIで検索する場合は→ 巻・号・頁から探すタブへ。

2 電子ジャーナルが利用できればリスト表示されます。[利用可能]の年が、本文が利用できる年です。

1998年 793巻1号から現在まで本文利用可能の意味です。雑誌タイトルをクリック。

3 中間窓画面が開きますので Goをクリック。

4 その雑誌の 電子ジャーナルサイトが開きます。All issues から読みたい Vol, Issue 論文を探してクリック。

5 あるいは、Search。

※ フルテキスト可能な論文は

- ScienceDirect は ● Full text access の表示があります。
- SpringerLINK は “Download PDF” or “View Article” の表示があります。
- Wiley Online Library は 🔒 Full Access 開いている鍵などのマークです。

6 論文を探し、“Download PDF” などから PDFファイルをダウンロードしたり、HTMLファイルをクリックして本文が利用できます。

電子ジャーナルで利用できない場合は、冊子体の所蔵を探す【Guide Sheet No. 3 参照】か、冊子体の所蔵がない場合は、文献複写物の取寄せも可能です。【Guide Sheet No. 7 参照】

電子ジャーナル本文